



学長あいさつ

Message from the President

2014年4月。秋田大学はこの春、国際資源学部を新たに創設し、再編した理工学部と教育文化学部に加えて、4学部体制として新たにスタートしました。

鉱山専門学校をルーツとし、工学資源学部が築いてきた探究心は、理工学部と国際資源学部の新入生と在校生が、その知と志を引き継ぎ育んでいくことになります。少子高齢化の先端を行く秋田ですが、ここに育つ子供たちは「学力日本一」と評価され、まさに秋田の夢をつなぐ資源となっています。教育文化学部の存在、そして夢も、この資源と共にあります。この度の再編で新たにできた地域文化学科とともに、地域や世界に貢献する人材養成の実績を積み上げてまいりましょう。そして医学部。1970年、わが国における戦後初めての医学部として、当時、立ち遅れた秋田の医療を憂いた県民が一丸となって、国を動かし、開設に結びつけたものです。すなわち、医学部は、この地に暮らす人々の命を守る「希望」が源です。このような特色ある各学部で、研鑽を重ね、世界と地域を見据えたリーダーを目指しましょう。

世界は今、人や物、情報などが瞬時に行き交う大競争の中にあります。この動きに、国境などという「壁」はありません。日本が将来にわたって国際社会で信頼、尊敬され、存在感を発揮しつつ発展していくために、皆さんには「秋田大学」という学ぶ場と、「学生」としての時間が与えられています。世界へと続く期待も込められているのです。人格形成とともに、グローバル化

に対応する自分自身の「言葉」を磨いてください。言語の分野における第二の開国。学長として、これが日本の直面している現実だと認識しています。若さと才能にあふれる皆さんが、国際人として成長することを、秋田大学は最大限に支援していきます。

キャンパス内では、24カ国・地域から200名を越える留学生の皆さんが、勉学に励んでいます。豊かな自然の四季の移ろいが、そしてここ秋田に住む人々の豊かな人情が、留学生活を実りあるものにしてくれるはずです。人間として共通する感情・知識があるということと、それぞれの文化で培われた多様な考え方、感じ方もあります。国際人として不可欠なこの感性をぜひ、日本の学生とともに秋田の地で磨いてください。

秋田大学は、豊かな地域資源を有する北東北の基幹的な大学として、地域と共に発展し地域と共に歩むという存立の理念を掲げています。地域の現実を踏まえた教育研究の場において、優れた人材の育成に努めるとともに、独創的な成果を世界に発信しつつ、国内外の意欲的な学生を受け入れています。「横手分校」「北秋田分校」「男鹿なまはげ分校」を拠点にした、地域との連携もますます強化していきます。県内外との大学の連携も、さらに深めていきます。

地域・世界を視野に入れた独創的な挑戦。

秋田大学の「使命」には、ここに集う人の数だけ、夢の広がりや可能性を秘めています。

国立大学法人秋田大学長 澤田 賢一